

2024年9月20日

課題名：転移性非淡明細胞型腎細胞癌に対する
免疫チェックポイント阻害剤を含む併用療法の臨床成績

◆研究の目的と概要◆

当院では、非淡明細胞型腎細胞癌の病名でニボルマブ（オプジーボ）やペムブロリズマブ（キイトルーダ）、イピリムマブ（ヤーボイ）を投与された患者さんについてその有効性について調べています。本研究では、非淡明細胞型腎細胞癌に対する治療の有効性の解明を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年8月から、2024年8月までの間に、淡明細胞型腎細胞癌以外の腎細胞癌と診断され、初回治療としてニボルマブ、ペムブロリズマブ、イピリムマブのいずれかを投与された方。

◆研究に使用される情報◆

患者さんの情報（性別、年齢）、カルテ上の治療記録（腎細胞癌の治療経過、薬剤投与開始日や投与期間、有害事象出現の有無やその内容、治療後の経過や逐次治療の内容）、画像データ（転移の場所、転移巣の縮小や増大といった治療効果判定）

◆情報の研究利用開始日◆

2024年10月17日以降

◆研究方法◆

本研究は後ろ向き研究として過去の診療録から上記情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
泌尿器科 研究責任者 松田 伊織

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明